



第7回

ざんねんな いきもの

自然 部門

博物館では、児童書『ざんねないきもの事典』と
コラボレーションした展覧会を開催します。国内外
の鳥36種と茨城のいきもの28種が集合し、「ざんね
ん」というちょっと変わった切り口で、いきものの
魅力をわかりやすく展示します。

今回は、展示の中から、トビのざんねんな一面に
ついて紹介します。

問合せ／市立博物館(☎226-6521)



トビはハンターっぽいけど
狩りが苦手

見かけて
判断しちゃ
いけないぜ

「いきもの」の世界は弱肉強食だ」とよく言われま
す。強い種が生き残り、弱い種は絶滅する。そう
して強い種の遺伝子が進化をうながした——とい
うイメージがあるかと思えます。

ところが、実際の進化の歴史は、必ずしも弱肉
強食というわけではありません。例えば、オオタ
カは狩りが上手で、市内に生息する野鳥の中では
食物連鎖の頂点にいます。それほど強ければ、個
体数はどんどん増えそうなものですが、準絶滅危
惧種に指定されるほど少ないのが実情です。

では、タカの仲間では個体数が最も多い種は何か
といえば、それはトビです。トビは速く飛ぶのも
獲物を捕まえるのも苦手。狩りの上手さでは、オ
オタカに遠く及びません。さらに争いにも弱く、
クラスにまで負けてしまうなど、ちょっとざんね
んな一面を有しています。

そんなトビが、なぜ個体数ナンバーワンなので
しょうか。実は、タカの仲間の多くは肉食ですが、
トビは雑食。動物の死骸を主食とし、さらに人間
が出したゴミなども食べるので、危険を伴う狩り
をしなくても、安全かつ安定的に食料を獲得でき
ます。こうして、トビは狩りが苦手というざんね
んな一面を持ちながらも、オオタカをはるかに上
回る繁栄を築きました。このように、いきものの
進化は、すぐれた特性が進化し、ざんねんな特性
が退化するとは限らず、とても多様なのです。

展覧会では、たくさんのおいしもの「ざんねん」
がお待ちしています。ぜひ、進化のすばらしさを
再発見してください。

(水戸市立博物館自然部門学芸員 関口慶久)

ざんねんな 鳥&茨城の いきもの展



イラスト：下間文恵

「ざんねないきもの」は、株式会社高橋書店の登録商標です。
©TAKAHASHI SHOTEN/今泉忠明/Ayae Shimoma

期間／10月17日(土)～11月23日(月) ※土・日
曜日、祝日は入館予約が必要です。詳細は、お
問合せください。 入場料／一般200円 ※18歳
以下・65歳以上の方は無料。 休館日／月曜日
※11月23日(月)は開館。

「ざんねんな 鳥&茨城のいきもの展」関連イベントに参加しませんか

▼投網体験教室 霞ヶ浦・北浦の魚たち

投網の打ち方を学び、湖岸に出て投網を体験し
ます。また、獲れた魚の特徴や生態について解説
します。

日時／11月7日(土)、午前10時～正午

場所／北浦湖岸(鹿嶋市瓜木)集合

対象／小・中学生とその保護者

定員／10組(定員になり次第締切り)

料金／一人100円(保険料)

申込み／10月10日(土)の午前9時から受付け
ますので、電話で、市立博物館へ

▼特別講演会「ざんねないきものから学ぶ進化の不思議」

『ざんねないきもの事典』シリーズの監修者が、生き物の
ユニークな生態や進化の過程などを語ります。

日時／11月21日(土)、午後1時30分～3時

場所／みと文化交流プラザ

定員／100名(定員になり次第締切り)

※小学3年生以下は保護者同伴。

料金／無料

講師／今泉忠明(動物学者)

申込み／10月13日(火)の午前9時から受付
けますので、電話で、市立博物館へ



【発行】水戸市 ☎0299・224・1111(代表)
〒310-8610 水戸市中央1-4-1
ホームページ / <https://www.city.mito.lg.jp>

【編集】みとの魅力発信課 ☎0299・224・5188
✉kouhou@city.mito.lg.jp